

特集：第11回鹿児島大会シンポジウム2

テーマ：「地域から求められる総合歯科医療—様々なシチュエーションで考える—」

地域から求められる総合歯科医療 —様々なシチュエーションで考える—

General Dentistry in an urban area, a local city, and a remote island

井 上 哲

北海道大学大学院歯学研究院臨床教育部

総合歯科医療が実際に行われている現場といっても、様々なシチュエーションがあります。その現場では患者さんの多様なニーズに対応した「総合歯科医療」が行われていると考えられます。そこで本シンポジウムでは3名のシンポジストの先生方に、それぞれの異なる地域や状況（例えば離島）において求められる内容とはどんなものか、先生方のお考えや実践例をお示しいただき、様々な現場で求められる「総合歯科」とは何か、またどうあるべきなのか、についてお話して頂きました。

本誌には、まず最初に、鶴田 潤先生（東京医科歯科大学）に“総合歯科診療医”のあり方～大都市圏の将来の歯科医療のあり方を通して～”というタイトルでレビュー形式で纏めて頂き、次に、榎安秀樹先生（北海道帯広市開業）には“地方都市における総合歯科医療とは—開業医・管理型臨床研修施設として考える—”というタイトルでレビュー形式でお纏め頂き、最後に、大戸敬之先生（鹿児島大学）には“離島地域における歯科医療の課題—島民の歯科ニーズについての観点から—”という原著論文にお纏め頂きました。

様々なシチュエーションで求められる総合歯科医療とはどんなものか、についてのこれらの御寄稿が少しでも皆様の理解を深めて頂くのにお役にたてばと願います。